

### 第 62 回入学式の風景

令和 6 年 4 月掲載

満開の桜が咲く中、第 62 回入学式が 4 月 6 日(土)に執り行われました。

園芸科学科 69 名、畜産科学科 39 名、農業総合科 79 名、合計 187 名の新入生を迎え、厳粛な雰囲気の中での式となりました。

真新しい制服に身を包み、少し緊張した面持ちで担任の呼名にしっかりとした返事をしていました。



私の式辞として、「世話という言葉があり、英語ではケアという語を使いません。例えば、犬を自宅で飼い始めたとします。家族の一員として愛情を注ぎ、命が尽きるまで面倒を見ることが世話することとなります。

しかし、農業の世界では、理不尽かもしれませんが愛情をもって育てた牛が子牛を産めなくなった時点で肉用として出荷される現実があります。そこには、管理と経営の視点が入ってきて、経済面での判断として出荷という結果となります。だから、淘汰、つまり不必要な動物を取り除くことを意味しますが、淘汰させないために管理する者が知識と技術と適切な判断を持てるようしっかり勉強し、常にその能力を磨いてかなければならないのです。

皆さんに身に付けてほしいこととして栽培管理や飼育管理、培養管理など適切にコントロールすることやマネジメントするための力をこの中農で身に付けるとともに様々な農業に関する教育活動を通して深めてもらいたいと思います。

“農業”というアイテムを駆使してマネジメントできる人材となってほしいと思います。」と新入生に送りました。

4 月 9 日から本格的な高校生活が始まります。中農生として早くなじんでほしいですね。



飾花の中に 3 学科を表すものが置かれています